



情熱を信頼に

第99期第2四半期
報告書

自平成24年4月1日 至平成24年9月30日

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第99期第2四半期連結累計期間が終了いたしましたので、ここに第99期第2四半期報告書をお届けし、ご報告いたします。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、アンモニア系製品及びホルマリン、木材加工用接着剤については主要顧客

の需要回復が逐次進展し、持ち直し傾向を辿りましたが、機能化学品事業の一部の需要が大幅に減少したこと等から、前年同期との比較では減収となりました。また、損益については、上記のとおり売上高が対前年同期比減収となる中で、震災による前期操業大幅低下に伴う繰越在庫の払出負担等一時的な要因、更には震災による損害に伴い前期特別損失に計上した工場固定費の本来売上原価への反映等があったことにより、前年同期との比較では減益となりました。

一方、平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、欧州債務問題に中国経済の減速傾向といった新たな懸念要素が加わる等、第3四半期以降の経済諸情勢が一段と不透明さを強める中で、上記機能化学品事業の需要の更なる落ち込みが見込まれること、またこれまで比較的堅調であった無機化学品事業の一部についても先行き需要の停滞感が予想されること等から、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について、平成24年5月11日に発表した業績予想数値を下回る見通しとなりました。

－平成25年3月期通期連結業績予想及び配当予想－

【売上高】	315.0億円
【営業利益】	7.5億円
【経常利益】	10.0億円
【当期純利益】	4.2億円
【配当金】	2.0円

当社グループは、昨年3月の大震災以降、小名浜工場の復旧、プラントの運転最適化、要員効率化、諸経費対応をはじめとするコストの削減、販売拡大努力等に心血を注いで参りましたが、第3四半期以降は、改めて当社グループ挙げて事業全般に亘る収益改善施策をよりスピーディーかつ徹底的に推進し、確実な成果に繋げるべく全力を尽くして参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

取締役社長

中村英輔

当社グループの営業の概況

当第2四半期連結累計期間（4～9月）における日本経済は、復興関連需要等に支えられ、夏場頃まで緩やかな回復過程を辿りましたが、その後世界経済が減速傾向を強める中で、持ち直しの動きが一服するなど、景況感に変化が見られました。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、去る平成24年10月25日に「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしましたとおり、機能化学品事業の一部が需要低迷等により厳しい状況で推移しましたが、無機化学品事業の一部及びエンジニアリング事業が比較的堅調であったこと等から、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益について、平成24年5月11日に発表した業績予想を修正いたしました。

こうした中で、売上高は、アンモニア系製品及びホルマリン、木材加工用接着剤については主要顧客の需要回復が逐次進展し、持ち直し傾向を辿りましたが、機能化学品事業の一部の需要が大幅に減少したこと等から、前年同期との比較では減収となりました。

一方、損益については、上記のとおり売上高が対前年同期比減収となる中で、震災による前期操業大幅低下に伴う繰越在庫の払出負担等一時的な要因、更には震災による損害に伴い前期特別損失に計上した工場固定費の本来売上原価への反映等があったことにより、前年同期との比較では減益となりました。

具体的には、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,837百万円（前年同期比4.6%減）となりました。また、損益につきましては、営業損失139百万円（前年同期は営業利益669百万円）、経常利益5百万円（前年同期比99.3%減）となり、四半期純損益は、小名浜工場の硝酸・混酸製造設備の減損損失（314百万円）、固定資産売却益（81百万円）、補助金収入（66百万円）を計上したこと等から40百万円の損失（前年同期は四半期純利益335百万円）となりました。

セグメント別の概況

(無機化学品事業)

硝酸をはじめとするアンモニア系製品は、前年年末に概ね底を打った主要顧客の需要がその後順調に回復過程を辿ったこと等により、販売数量、売上高ともほぼ前年同期並みとなりました。合成石英粉は、前年年末に需要の減少が概ね底入れし、以後、逐次持ち直し過程を辿りましたが、堅調であった前年同期との比較では、販売数量、売上高とも減少しました。ディーゼル車脱硝用高品位尿素水(アドブルー)は、市場競争の激化による厳しい状況下、尿素SCRシステム搭載車の増加、拡販努力等により販売数量、売上高とも増加しました。

その結果、全体の売上高は6,842百万円(前年同期比3.6%減)となりました。

(機能化学品・化成品事業)

タイヤ(ゴム、プラスチック架橋助剤)は、緩やかな回復過程を辿っていた需要が夏場以降急減し、販売数量、売上高とも大幅に減少しました。電子工業用高純度薬品は、依然として厳しい状況が継続し、販売数量、売上高ともに震災の影響で大きく落ち込んだ前年同期並みとなりました。脂肪酸アמידは、夏場以降需要が低迷したものの、震災の影響で大きく落ち込んだ前年同期との比較では、販売数量、売上高とも増加しました。

メタノールは、販売数量は減少しましたが、市況の上昇により売上高は前年同期並みとなりました。ホルマリンは主要顧客の需要回復等により、木材加工用接着剤は主要顧客の震災復旧の進展等により、回復基調が継続したことから、大きく落ち込んだ前年同期との比較では、販売数量、売上高とも大幅に増加しました。

その結果、全体の売上高は5,867百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

(エンジニアリング事業)

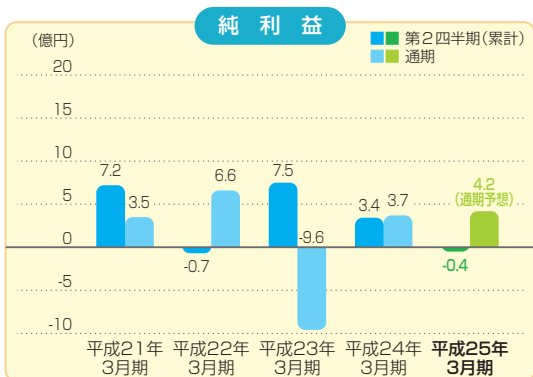
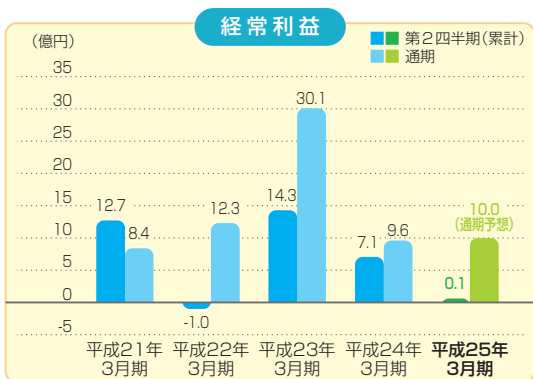
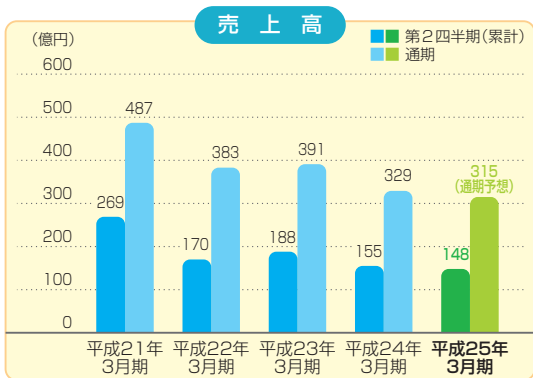
前期に受注した災害復旧案件の検収があったこと及びコスト削減努力等により、当初予想は上回ったものの、比較的好調であった前年同期との比較では、売上高は減少し1,447百万円(前年同期比25.1%減)となりました。

(その他)

貨物運送・荷役事業は、ほぼ前年同期並みで推移しましたが、有機溶剤等の蒸留・精製業の処理量減少等もあり、全体の売上高は602百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

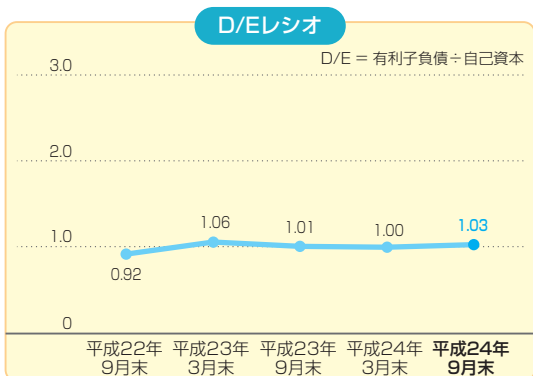
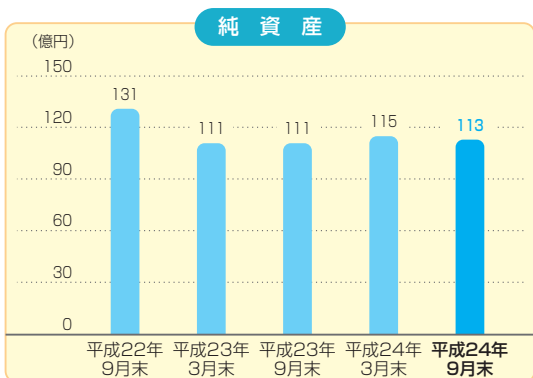
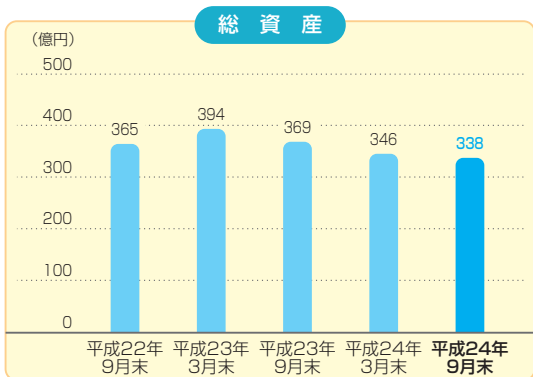


連結業績の推移



売上高：億円未満四捨五入

経常利益、純利益：千万円未満四捨五入

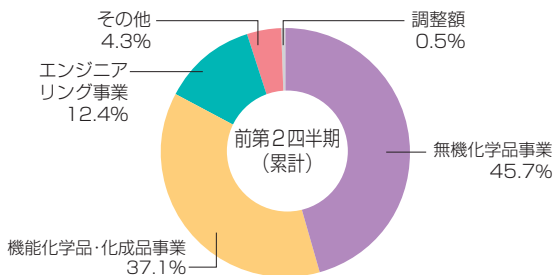
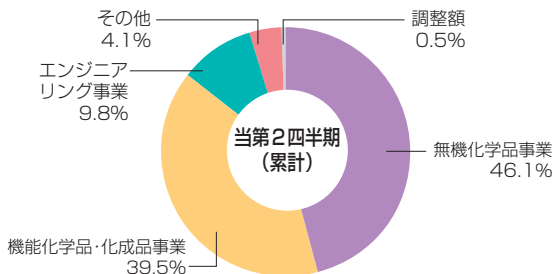


総資産、純資産：億円未満四捨五入

セグメント別の事業内容

セグメント名	主要製品
無機化学品事業	アンモニア系製品（液安、硝酸、硝酸塩類、混酸、液体尿素、高品位尿素水等）、合成石英粉等
機能化学品・化成品事業	タイヤ（ゴム、プラスチック架橋助剤）、紫外線硬化性樹脂、脂肪酸アמיד、ワックス、電子工業用高純度薬品、2-ピロリドン（有機溶剤）、メタノール、ホルマリン、硫酸、接着剤、石油販売業等
エンジニアリング事業	プラント設計・建設・修繕、建築、土木、保全工事等
その他	貨物運送・荷役業、蒸留事業等

セグメント別売上高構成比



(注) 売上高の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない電気及び蒸気の販売であります。

連結貸借対照表 (平成24年9月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
流動資産	16,842	流動負債	18,809
現金及び預金	1,320	支払手形及び買掛金	4,812
受取手形及び売掛金	8,300	短期借入金	10,887
商品及び製品	3,084	未払法人税等	34
仕掛品	1,190	賞与引当金	299
原材料及び貯蔵品	1,378	災害損失引当金	1,209
その他	1,570	その他	1,568
貸倒引当金	△0	固定負債	3,775
固定資産	17,000	長期借入金	710
有形固定資産	12,809	退職給付引当金	2,887
建物及び構築物	3,026	役員退職慰勞引当金	63
機械装置及び運搬具	2,308	その他	115
土地	6,951	負債合計	22,584
建設仮勘定	377	純資産の部	
その他	147	株主資本	11,250
無形固定資産	47	資本金	6,593
その他	47	利益剰余金	4,663
投資その他の資産	4,144	自己株式	△6
その他	4,171	その他の包括利益累計額	8
貸倒引当金	△27	その他有価証券評価差額金	8
資産合計	33,842	純資産合計	11,258
		負債・純資産合計	33,842

連結損益計算書 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

科 目	金 額	
	百万円	百万円
売 上 高		14,837
売 上 原 価		12,473
売 上 総 利 益		2,364
販売費及び一般管理費		2,503
営業損失(△)		△139
営業外収益		
受 取 利 息	0	
受 取 配 当 金	106	
持分法による投資利益	33	
受 取 賃 貸 料	33	
そ の 他	65	237
営業外費用		
支 払 利 息	57	
そ の 他	36	93
経 常 利 益		5
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	81	
補 助 金 収 入	66	147
特 別 損 失		
減 損 損 失	314	314
税金等調整前四半期純損失(△)		△162
法人税、住民税及び事業税	26	
法 人 税 等 調 整 額	△148	△122
少数株主損益調整前四半期純損失(△)		△40
四 半 期 純 損 失 (△)		△40

貸借対照表 (平成24年9月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
流動資産	13,055	流動負債	16,589
現金及び預金	655	支払手形	50
受取手形	126	買掛金	2,479
売掛金	5,847	短期借入金	10,529
商品及び製品	3,032	1年内返済予定 の長期借入金	247
仕掛品	67	未払金	733
原材料及び貯蔵品	1,373	未払費用	779
前払費用	135	未払法人税等	16
繰延税金資産	915	未払事業所税	13
未収入金	389	賞与引当金	158
その他	512	災害損失引当金	1,208
固定資産	15,512	資産除去債務	116
有形固定資産	12,426	その他	255
建物	1,915	固定負債	3,127
構築物	946	長期借入金	709
機械及び装置	2,430	退職給付引当金	2,292
車両運搬具	4	役員退職慰労引当金	35
工具、器具及び備品	113	その他	89
土地	6,684	負債合計	19,716
建設仮勘定	331	純資産の部	
無形固定資産	38	株主資本	8,846
特許権	0	資本金	6,593
ソフトウェア	37	利益剰余金	2,258
投資その他の資産	3,047	利益準備金	157
投資有価証券	459	その他利益剰余金	2,101
関係会社株式	346	繰越利益剰余金	2,101
関係会社長期貸付金	653	自己株式	△5
長期前払費用	111	評価・換算差額等	4
繰延税金資産	1,289	その他有価証券評価差額金	4
投資不動産	661	純資産合計	8,850
その他	85	負債・純資産合計	28,567
貸倒引当金	△559		
資産合計	28,567		

損益計算書 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

科 目	金 額	金 額
	百万円	百万円
売 上 高		11,262
売 上 原 価		9,618
売 上 総 利 益		1,644
販売費及び一般管理費		1,969
営業損失(△)		△324
営業外収益		
受 取 利 息	4	
受 取 配 当 金	555	
そ の 他 の 収 益	76	635
営業外費用		
支 払 利 息	54	
そ の 他 の 費 用	27	82
経 常 利 益		228
特 別 損 失		
減 損 損 失	313	
関係会社貸倒引当金繰入額	139	452
税引前四半期純損失(△)		△224
法人税、住民税及び事業税	△22	
法 人 税 等 調 整 額	△198	△220
四 半 期 純 損 失 (△)		△3

会社概要

(平成24年10月1日現在)

○商号

日本化成株式会社

○英文社名

Nippon Kasei Chemical Company Limited

○本社

東京都中央区新川一丁目8番8号 アクロス新川ビル

○資本金


6,593百万円

○創立

昭和12年9月1日

情熱を信頼に

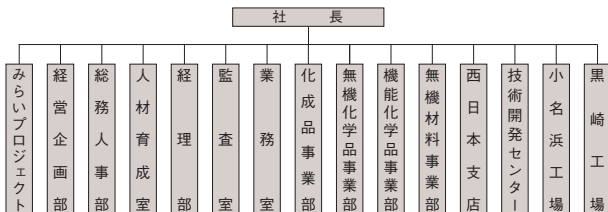
私たちは情熱の全てをお客様の価値創造にそそぎます
新たな出会いを大切に、積み上げた信頼が
私たちの未来になることを信じて

 日本化成グループ

会社組織及び主要な事業内容

組織図

(平成24年10月1日現在)



主要な事業内容

(平成24年10月1日現在)

部門別	主要製品名
化成製品事業部	メタノール、ホルマリン、硫酸、接着剤等
無機化学製品事業部	アンモニア系製品（液安、硝酸、硝酸塩類、混酸、液体尿素、高品位尿素水等）
機能化学製品事業部	タイク（ゴム、プラスチック架橋助剤）、紫外線硬化性樹脂、脂肪酸アמיד、ワックス、電子工業用高純度薬品、2-ピロリドン（有機溶剤）等
無機材料事業部	合成石英粉等

役員

(平成24年10月1日現在)

地位	氏名	担当又は主な職業
取締役社長 (代表取締役)	中村英輔	
常務取締役	藤倉剛	小名浜工場長
取締役	坂本昭二	機能化学製品事業部長
取締役	渡辺和哉	経営企画部長 業務室、黒崎工場担当
取締役	菅正弘	三菱化学㈱ 理事 機能化学本部機能化学企画室長 兼 食品機能材部長
常勤監査役	坂部憲治	
監査役	佐藤寛樹	三菱化学㈱ 監査役
監査役	美村貞直	弁護士

(注) 監査役坂部憲治、佐藤寛樹及び美村貞直の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

(平成24年9月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 200,000千株
- ② 発行済株式の総数 105,115千株
- ③ 株主数 7,088名
- ④ 大株主

株主名	持株数	持株比率
三菱化学(株)	55,450,500 ^株	52.77 [%]
三菱商事(株)	12,750,000	12.13
(株)みずほコーポレート銀行	3,293,000	3.13
東京海上日動火災保険(株)	1,254,000	1.19
日新建物(株)	969,000	0.92
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	879,000	0.84
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	609,000	0.58
松井証券(株)	485,000	0.46
黒木清巳	461,000	0.44
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口1	379,000	0.36

(注) 持株比率は自己株式(29,634株)を控除して計算しております。

主要な事業所／グループ会社

主要な事業所

(平成24年10月1日現在)

名 称	所 在 地
本 社	〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル7F TEL 03-5540-5861
西日本支店 大阪営業グループ	〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル7F TEL 06-6204-8422
西日本支店 中部営業グループ	〒451-6018 愛知県名古屋市中区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー TEL 052-565-3554
西日本支店 九州営業グループ	〒812-0026 福岡県福岡市博多区上川端町12-20 ふくぎん博多ビル8F TEL 092-281-6677
技術開発センター	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3115
小名浜工場	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3111
黒崎工場	〒806-0004 福岡県北九州市八幡西区黒崎城石1-1 [三菱化学(株)黒崎事業所内] TEL 093-643-4010

グループ会社

日 化 運 輸(株)

小 名 浜 蒸 溜(株)

日化エンジニアリング(株)

小 名 浜 海 陸 運 送(株)

日化トレーディング(株)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主確定基準日	(1) 定時株主総会 3月31日 (2) 期末配当金 3月31日 (3) 中間配当金 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。

公告掲載URL <http://www.nkchemical.co.jp/investor-j/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Good Chemistry for Tomorrow

三菱ケミカルホールディングスグループ

日本化成株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル
tel 03-5540-5861 fax 03-5540-5961
<http://www.nkchemical.co.jp/>